

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	路面電車活性化事業			事業番号	017-013
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
		有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金交付要綱・堺市路面電車施設高度化事業費補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺堺線沿線住民や通勤・通学者、来街者などの堺堺線利用者。6,853,711人 (令和4年度年間利用推計者数)	対象数	6,853,711	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺堺線堺市内区間の軌道施設の改修等が実施されることにより、保安度の向上を図る。 設備の高度化を促すことにより、利用者の利便性向上に取り組むことで堺堺線利用者数の増加を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	堺堺電気軌道（株）に対し、堺堺線の軌道施設の改修や施設の高度化等のための経費を補助する ■ 令和4年度の実施内容 ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金（施設の老朽化対策） ・路面電車施設高度化事業費補助金（堺トラム再塗装） ・堺堺線利用状況調査（堺堺電車OD調査業務） ■ 令和5年度の実施内容 ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金（施設・車両の老朽化対策、車両検査） ・路面電車施設高度化事業費補助金（堺トラム再塗装、大和川停留場美化） ・堺堺線利用状況調査（堺堺電車OD調査業務）			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺堺電気軌道株式会社			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	堺堺線・上町線の年間利用推計者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	7,382,107	7,382,107	7,382,107	8,202,341
			実績値	6,113,356	6,853,711		
	達成率	83%	93%				
当該指標を選定した理由	当事業の目的である「堺堺線利用者数の増加」を成果指標とする						
目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナウイルスの影響を考慮し目標修正。H30年度比でR3～R5年度は90%、R7年度は100%とする。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	老朽化対策実施箇所	か所	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	2	2	2	
			実績値	2	2		
	達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由	老朽化対策を実施することで安全安心な路線が確保されることにより、保安度の向上を図るため						
目標値の設定根拠・算出方法	要対策箇所より設定						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	路面電車活性化事業	事業番号	017-013
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	190,229	47,319	18,633	15,239	31,290	
13 財源内訳	国支出金		0	0	0	
	府支出金		0	0	0	
	市債		0	0	0	
	その他 (寄付金)		1,000	999	1,200	
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0	0	0
	一般財源	190,229	47,319	17,633	14,240	30,090
14 人件費 (b)	16,000	12,040	11,680	11,900	10,980	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	206,229	59,359	30,313	27,139	42,270	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金	R4	決算	8,297	8,297	駐輪場借地料	R4	決算	0	0
		R5	予算	19,624	19,624		R5	予算	346	346
	路面電車施設高度化事業費補助金	R4	決算	999	0	手数料	R4	決算	4	4
		R5	予算	3,700	2,500		R5	予算	0	0
	阪堺線利用状況調査委託料	R4	決算	5,917	5,917		R4	決算		
		R5	予算	7,495	7,495		R5	予算		
	廃棄物処理・運搬等委託料	R4	決算	17	17		R4	決算		
		R5	予算	100	100		R5	予算		
	保険料	R4	決算	5	5		R4	決算		
		R5	予算	25	25		R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	6,113,356	6,853,711
② 上記①にかかる年間経費	千円	47,319	14,240
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8	2
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>施設の老朽化対策に対する鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金について、令和4年度は施工内容から過年度と比較し事業費が少なくなっている。また、路面電車施設高度化事業費補助金については、クラウドファンディングによる寄附金を活用し事業を実施している。よって単位当たり経費は令和3年度と比較し、約1/4となった。</p> <p>分岐器の更新等、老朽化対策の実施により、施設の安全性が確保されている。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>阪堺線の維持確保、交通ネットワークの構築に向けて、阪堺線堺市内区間の軌道施設の改修等による施設の安全性の向上に取り組んだ。本事業によって保安度の向上並びに利用者の利便性の向上が図られており、阪堺線利用者数の増加に寄与しているものとする。</p>
----	---